

絵本を
読み上げると…

「う、さ、ぎ、さ、ん、が、いい、ま、し、た。おねえちゃんが治療しているそばで、いもうとがいすに座って絵本を読み上げるおおきな声が、診療室に響いています。いつのまにか、おねえちゃんも、私も、衛生士も、となりで治療しているおともだちも、受付も、待合室であそんでいる子も、みんながそのお話にじっと聞き入っていました。

先日、子育てで悩んでいるママに、科学的に根拠があるアドバイスを送ろう、という番組が放送されました。

たとえば、赤ちゃんが「夜泣き」したり「人見知り泣き」したりするのは、ほかの動物にくらべてヒトの脳の発達がゆっくりなためで、ママの育て方が悪いわけではないかもしれませんよ、という内容です。なかでも、感情的にかんしゃくをおこしてママのいうことに耳をかさない「イヤイヤ対策」は、とても興味深いものでした。

脳の奥のほうに、小さなアーモンドの形をした「扁桃体」が左右にあり、感情的、攻撃的な本能をつかさどっています。そして「前頭前野」とよばれる部分が、感情や行動の行き過ぎを抑えています。動物は生まれてすぐにその抑えが効いているのに、ヒトは体験すること、すこしずつ抑えを学習していくそうなのです。

では、どうすれば学習できるのか、そのキーワー

お話しいただいたのは
近藤 嘉人 院長



ドは「わかりやすい決まりごとをまもる」です。その具体例として絵本を使う方法が紹介されていました。

ふたり一組になって、ひとり絵本を声に出して読み上げます。そしてもうひとり聞き役で、ひとこともしゃべらずにただお話を聞きます。つぎに役割を交代して、読み上げた子は聞き役をつとめます。このようにして、ほんの少しガマンすることを自然に覚え、くりかえすことで抑えを学習するというわけです。

テレビやビデオと違い、ヒトがあいだに入る絵本に触れることで、五感が刺激されて脳の情報伝達が活性化することは、以前にもお伝えしましたが、絵本を聞くことだけでも脳の発達におおきくプラスになるのです。

私たちの医院にはテレビやビデオはいっさい置いていませんが、待合室に

も、診療室にも絵本があふれていて、雰囲気をつくするのにも、子どもたちの成長にも役に立っています。絵本をぜんぶ読み終えるころに、おねえちゃんの治療もちょうど終わりました。「とてもじょうずに読めるね。みんな聞きほれていたよ」と私がほめると、いもうとのさくらちゃんはニーツと口を横にひらげて、満面の笑顔を見せてくれました。



情報クリップ

こどもの歯科 待合室にて絵本を楽しむ「元気わくわくおはなし会」を毎月開いています。くわしくは、ホームページをご覧ください。受付または司書までお問い合わせください。

医療法人 元気が湧く
こどもの歯科

診療科目 小児歯科・矯正歯科

診療時間 ●診療時間 9:00~18:30
●昼休み 平日12:30~14:00
土日13:00~14:30
●休診 火曜・祝日(土日診療)

院長 経歴 H2 九州大学歯学部卒業 九州大学歯科矯正学講座入局
H8 日本矯正歯科学会認定医取得 小児歯科はまの勤務
H19 こどもの歯科に名称変更 院長に就任

福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F
〈市営 大橋駐車場をご利用ください〉

☎092(551)8080

ホームページ <http://kodomonoshika.com/>

